

R32Cシリーズ用シミュレータデバugga および エミュレータデバugga ご使用上のお願い

R32Cシリーズ用シミュレータデバugga および エミュレータデバuggaの使用上の注意事項を連絡します。

- R32Cシリーズ用Cコンパイラの -fI16 (-fint_16) オプションを使用した場合の注意事項

1. 該当製品

以下の製品が該当します。

(1) R32Cシリーズ用シミュレータデバugga

V.1.00 Release 00 および V.1.01 Release 00

本製品はR32Cシリーズ用Cコンパイラパッケージに含まれています。

(2) R32C/100 E30Aエミュレータデバugga

V.1.00 Release 00 ~ V.1.02 Release 00

2. 内容

以下の(1)または(2)の機能を使用した場合、コンパイラの -fI16(-fint_16) オプション (注) を使用してビルドしたプログラムのsigned int型変数の値を16進数表示、または、signed int型レジスタ変数の値を10進数表示すると、負の値のときに正しくない値が表示されます。

注: -fI16 (-fint_16) オプションは、int型を16ビット幅で扱います。

(1) Cウォッチウィンドウ

(2) スクリプトウィンドウのprintコマンド

3. 発生例

たとえば、signed int型の変数の値が以下の場合に発生します。

```
signed int val = 0xFFFF;
```

(1) signed int型変数の場合

16進数表示の場合、符号拡張されることにより、値が 0xFFFFFFFF と表示される。

(2) signed int型レジスタ変数の場合

10進数表示の場合、値が 65535 と表示される。

ただし、これらは、シミュレータデバッガ および エミュレータデバッガ上の表示のみの問題です。コンパイラの生成コードには問題ありません。

4. 回避策

(1) signed int型変数の場合

以下のいずれかの方法で値を参照してください。

(a) 10進数表示で参照

(b) エディタ (ソース) ウィンドウでの変数値のポップアップ表示で参照

(c) 「シンボル登録」ダイアログボックス (注) のテキストボックスに

以下のように入力し、変数を登録してから、Cウォッチウィンドウで参照

```
(short)val
```

注: 「シンボル登録」ダイアログボックスは、Cウォッチウィンドウの「Watch」タブをクリックしたウィンドウ上のポップアップメニュー (右クリックで表示) から「シンボル登録」を選択します。

(d) Printコマンドを使用する場合は、以下のように入力して参照。

```
print (short)val
```

(2) signed int型レジスタ変数の場合

以下のいずれかの方法で値を参照してください。

(a) 16進数表示で参照

(b) エディタ (ソース) ウィンドウでの変数値のポップアップ表示で参照

5. 恒久対策

R32Cシリーズ用シミュレータデバッガ および エミュレータデバッガの改修予定はありません。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.